



# 教育相談だよ!

丸亀城西高校教育相談部  
令和5年7月発行

まもなく1学期も終了です。生徒のみなさんは、夏季休業中の時間を利用して、1学期を振り返ってみましょう。保護者の皆様におかれましては、1学期中のお子様の様子につきまして、気になったり心配になったりしていることはございませんか。何かお気づきの点がございましたら、学校にご相談ください。また、2学期のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー来校日予定日は以下のとおりです。どうぞご利用ください。

中西先生(スクールカウンセラー)		西谷先生(スクールソーシャルワーカー)	
9月	1日・15日・22日・29日	9月	12日・26日
10月	6日・13日・20日・27日	10月	10日・24日
11月	9日・17日・24日	11月	7日・28日
12月	1日・8日・15日・22日	12月	12日

## 夢! ゆめ! Dream!! 皆さんの夢は何ですか?

丸亀城西高校 スクールカウンセラー 中西和美

「世界最高のプレイヤーになる」

アメリカのメジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手の高校時代の夢です。

皆さんも、今、夢に向かって、目標に向かって、一步一步進んでいることと思います。そんなとき、ふと「あ～疲れた。」「イライラする。」「何もしたくない。」などと思うことがあると思います。そして、スランプに陥ることもあるでしょう。

夢でなく、名実ともに世界最高のプレイヤーになった大谷選手にもスランプはあります。

「スランプ自体には悩まず、できるだけ早く乗り越えて良い状態に戻すにはどうしたらいいか考える。目標達成に何が必要か考える。」と話しています。ストレス発散方法は、「好きな」野球と筋トレをすることだそうです。

皆さんも、辛い、しんどいときは、「好きなことをする」「リラックスする」時間を作ったり、「自分が熱中できる」活動を意識的に行ったりと、自分をいたわる時間を作ってくださいね。夢のこと、学校のこと、友達のこと、家族のこと、何か気になること、どんなことでもお聴きしますので、気楽に声をかけてください。

## こどもの話を「聴く」ということ

丸亀城西高校 スクールソーシャルワーカー 西谷清美

一見簡単そうで難しいのが、こどもの話を聴くことです。私たちは日常生活の中で、親としてあるいは教師として、さらには地域社会で共に暮らす大人としてこどもたちの健全な成長と日々の安寧を願いながら彼らと関わっています。ましてや不登校やいじめ、その他の思春期特有の様々な問題を抱えてしまったこどもに対しては、その状況からの脱出や解決に向けて力になってやりたいというのが私たち大人的心情ではないでしょうか。

ただ、こどもの気持ちを思うあまり、問題に至った原因を追究し責任の所在を明らかにしようとしたり、犯人探しに奔走してはそこに懲罰を求めたり、あるいは子ども自身の心根が脆弱であることを叱咤するなど、時としてその支援の多くは大人の側の不安軽減やその解消策の域を出ないものもありますから、充分注意が必要です。

では、こどもたちが求めているのはいったい何なのでしょう。責任追及や犯人への懲罰なのでしょう。根性がないと叱責されることなのでしょう。そうではなく、彼らが求めているのは「わかってほしい」ということだと思います。誰かに自分が置かれている状況や気持ちをわかってほしいのです。そのために話を聴いてほしいのです。そのことを通じて、解決策を一緒に考えてほしいと願っているのかもしれない。

このようなこどもからの投げかけに対して、既に日常的にこどもの話は十分聞いているという方も多いとは思いますが、私がここで重視したいのは「聞く」ではなく「聴く」ということです。つまり、単に聞こえたり聞き流したりするというのではなく、関心をもって意識的に聴くということです。それは詮索したり調べたりすることではなく、心からわかろうとする態度で聴くということの意味します。わかると言っても「分かる」と「判る」と「解る」はそれぞれ意味合いが異なります。ここでこどものことを「わかる」とは「解る」ことを指します。分けるのでもなければ判定することでもありません。つまり、こどもの話を聴くということは、彼らの発する言葉にひたすら耳を傾けてその心情を読み取り、想像し、理解しようと努めることなのです。家庭、学校、地域社会で、今一度こどもたちの声に耳を傾けてみましょう。

最後に、生徒の皆さんには、学校にソーシャルワーカーがいることを知ってもらい、相談事があればぜひ利用していただければと思います。